

一年を振り返って

指導委員長 村上 周平

昨年は9月末の御嶽噴火、11月の白馬地震と大きな災害が起こり、多くの犠牲者が出ました。また昨今の気象変化も顕著で、八ヶ岳を例にとると例年2～3月に南岸低気圧の影響で降るドカ雪(いわゆる上雪)が12月頃から降り、湿雪で倒木が登山道を塞いだりアイスクライミングシーズンが始まる前にルンゼが埋まったりする事態が…亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに自然を敬い守り続けることの大切さも改めて感じておるところです。

一方で県内の山岳遭難発生件数はここ数年増え続けている状態です。内訳から特徴を見ると相変わらず40歳以上のいわゆる中高年が8割近くを占め、原因も体力不足、技術不足からと思われる道迷いや転滑落が多くみられます。また単独行での遭難も多く複数で登っていれば避けられたり重症化しなかったであろう事例も目立ちます。

このような状況の中、指導委員会が情報交換や技術研鑽の場として、登山者の技術アップ、遭難防止に役立っていくよう、盛り上げていきたいと思っていますので、皆様の変わらないご協力をお願いいたします。

平成26年度事業報告

昨年度は5/17～18に第17回雪上交流会in針ノ木を開催。針ノ木沢や大沢にてピッケル使用の直登下降を中心に、キックステップ時の「立ちこみ」等を反復、雪質と斜度に対応出来る歩行テクニックや支点構築～ロープワークを実践しました。雪上検定の事前講習会も行いました。

翌週5/24～25で第53回指導員検定会を実施しました。6名の受験者があり、全員山岳専門科目に合格しました。第3回理事会にて承認。

9/27～28に第27回長山協キャンプ in 小川山を開催。遭対委員会との共催によるセルフレスキュー研修、指導員受験希望者の継続的なレベルアップを目指した事前講習と初心者講習の班に分け、初心者からベテランまで各自のレベルに合った技術習得や日頃感じている疑問点を解決しあえる研修会になりました。

今年に入り1/24～25には第3回目となる八ヶ岳ウインターミーティングを実施しました。多くの協会員に参加・協力いただき、楽しい交流会・講習会となりました。アイスクライミング体験・初級者・事前講習の各班がジョーゴ沢F1～F2やナイアガラ滝においてそれぞれのテーマで熱心な講習会ができました。来年も継続してますます充実した場になるようにと考えています。

その他として山岳センターの講習会への講師派遣を随時実施しました。センターの協力もあり、多くの若い指導員に講師としての経験を積んでもらうことができました。またセンターのリーダーコース卒業生が協会加盟山岳会に入会する事例も増え、いい循環が生まれてきたように感じています。

今後も安全で楽しい講習会、交流会を続けて参ります。

平成26年度実施事業

- ① 指導員の養成
- ② 第17回雪上交流会in針ノ木 26. 5. 17～18 参加者30名(指導員10)
- ③ 第53回指導員検定会 26. 5. 24～25
山岳専門科目合格 金子(アトウォール)、赤梅(大町)、北原(飯田)、佐伯(山幸)、大山(山登)、笹川(駒峰)
- ④ 第28回長山協キャンプin小川山 26. 9. 27～28 参加者47名(指導員18)
指導委員会、遭対委員会合同実施 フェニックスの大岩、ガマスラブ
- ⑤ 第3回ウインターミーティングin八ヶ岳 27. 1. 24～25 参加者42名(指導員20)
行者小屋泊 ジョーゴ沢にて講習
- ⑥ 支部主催登山教室への協力
- ⑦ 指導員研修会、養成講座の開催
- ⑧ 山岳センター講師派遣
- ⑨ 更新登録手続き

その他

- ・退会者 根石(グーテンターク)、小林(原)、飯沼(高体連)、伊藤(無所属)、古幡(信高)

☆ 平成26年度指導委員会役割分担

任 務	氏 名	所 属	連 絡 先
委員長	村上周平	茅野山岳会	0266-62-7998
副委員長	傘木 靖	飯田山岳会	0263-82-8215
総務・会計	佐伯和人	山幸グループ	0266-26-7939
総務・総務	小口得也	L&M	0266-22-0800
検定	古畠俊彦	GDM	026-292-2889
研修	傘木 靖	飯田山岳会	0263-82-8215
研究	松山 信	マウント・ブーリー	090-4159-5447